

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	お茶の水はりきゅう専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	はり師きゅう師学科（3年制）	夜・通信	99単位	9単位	
	はり師きゅう師学科（3年制）	夜・通信	99単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関する記入欄あり。 <a href="https://www.harikyu.ac.jp/gakka-day/">https://www.harikyu.ac.jp/gakka-day/</a> : ◆A
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	お茶の水はりきゅう専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。  
<https://www.harikyu.ac.jp/about/information/> : ◆B

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役	※	法人の運営体制の チェック機能
非常勤	名誉宮司	R5.4.1～ R7.3.31	法人の運営体制の チェック機能
(備考) ※ 評議員選出理事であり、理事としての任期はない。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	お茶の水はりきゅう専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>											
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の方法は、シラバスの別紙第1「教育課程及び授業時数」の授業形式欄に記載</li> <li>・ 授業内容・到達目標は、科目毎の授業回数に応じて記載</li> <li>・ 年間の授業計画は、通年科目及び半期科目と種別して記載</li> <li>・ 成績評価の方法・基準は、科目毎に定期試験(筆記・実技)の成績を記載</li> <li>・ 実務経験のある教員等は、シラバスに記載</li> <li>・ 方略・使用教科書・参考書についても記載</li> </ul> <p>なお、作成に当たっては、当年度全ての授業実施結果を検証(分析)し、特に問題点となる事項を抽出し、その後教員ミーティングにて検討した結果を、次年度のシラバスに反映させている。</p> <p>シラバスの公表時期については、4月1日である。</p>											
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.harikyu.ac.jp/gakka-day/">https://www.harikyu.ac.jp/gakka-day/</a> : ◆C										
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>											
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価は、シラバスに記載している方法で厳格に行い、学則に則り実施している。出席日数が7割未満の授業科目については、不合格とする。</p> <p>定期試験は、100点を満点とする。</p> <p>成績評価は、次に掲げる表のとおり行う。</p> <table border="1" data-bbox="293 1509 825 1700"> <thead> <tr> <th>点数</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80点以上</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>79～70点</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>69～60点</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>59点以下</td> <td>D</td> </tr> </tbody> </table> <p>やむを得ない理由により定期試験を受験できなかった者に対しては追試験を行う。追試験の成績評価については、60点を上限とする。</p> <p>定期試験で及第点(60点)に満たなかった不合格者に対しては再試験を行う。</p> <p>学修評価の決定については、進級認定会議及び卒業認定会議において、成績・出席・学費納入状況の3項目を総合的に判断のうえ、適正に認定している。</p>		点数	評価	80点以上	A	79～70点	B	69～60点	C	59点以下	D
点数	評価										
80点以上	A										
79～70点	B										
69～60点	C										
59点以下	D										

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPAについては、学内の成績評価の1つとして活用している。</p> <p>現在の授業評価方法は、100点満点を基準として60点以上を合格としている。成績評価は評価点数により、100～80点をA・79～70点をB・69～60点をC・59点以下をDとして、学生に通知されている。</p> <p>GPAにした場合は、100～90点をA・89～80点をB・79～70点をC・69～60点をDとして、(Aの科目数×4+Bの科目数×3+Cの科目数×2+Dの科目数×1)の合計を、各学生が履修した総科目数で除した数として求めることによって算出する。 「客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料」をGPAで2023年度データ(1年生)を基にHPで公開。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.harikyu.ac.jp/about/information/">https://www.harikyu.ac.jp/about/information/</a> : ◆D 客観的指標については、オリエンテーション時に学生へ配付し、事務室で保管のうえ、希望者には閲覧可能としている。 : ◆D</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各科目のシラバスに記載している一般目標(GIO)を修得するとともに、国家試験受験資格を得るための知識・技能を身につけること。</p> <p>卒業要件は、成績・出席・学費納入状況の3項目及び学習態度・修学状況を加味し総合的に評価する。 卒業認定は、授業科目の成績評価及び卒業認定会議の議を経て校長が決定する。</p> <p>学則に則り適正に認定している。また、卒業認定については、新入生オリエンテーションにて「学生便覧」を用いて学生に説明を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.harikyu.ac.jp/about/information/">https://www.harikyu.ac.jp/about/information/</a> : ◆E</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	お茶の水はりきゅう専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.harikyuu.ac.jp/about/information/">https://www.harikyuu.ac.jp/about/information/</a> :◆F
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	はり師きゅう師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼夜	2,660 単位時間／113 単位	1,880 時間 /94 単位	時間 /単位	780 時間 /19 単位	時間 /単位	時間 /単位
		2,660 時間／113 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
168人		162人	0人	9人	12人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 実力試験（毎年度4月実施）の成績に応じて補講授業を時間外に実施し、学力の向上を目指す取組みを行っている。 実技実習の時間外教育を実施し、施術技術の向上に取り組んでいる。 卒業生に対する卒業後教育の受入れを実施し、臨床能力の向上に取り組んでいる。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
50人 (100%)	1人 (2.0%)	43人 (86.0%)	6人 (12.0%)
(主な就職、業界等) 株式会社組織の鍼灸治療院がほとんどで、一部美容系治療院にも就職している。			
(就職指導内容) 就職担当教員による個別面談の実施 教員引率による治療院訪問（見学） 委託業者による「就職セミナー」「企業説明会」「企業（治療院等）の人事担当者による講話」			
(主な学修成果（資格・検定等）) はり師国家試験受験資格、きゅう師国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
160人	4人	2.5%
(中途退学の主な理由) 健康上の事情、経済的な理由が主な理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業については、事前に担任が把握し各学生の個別面談等を実施して勉学について適切な助言を行っている。 その他私生活等の問題についても、学校として対応できるものは教員・学校カウンセラー及び事務職員も含めて支援体制をとっている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
はり師き ゆう師学 科	400,000 円	900,000 円	300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.harikyu.ac.jp/about/information/">https://www.harikyu.ac.jp/about/information/</a> : ◆G		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価については、企業、卒業生等の中から学校関係者評価委員を選出し、それぞれの知見を活かして教育内容・進路指導等について評価を行う学校関係者評価委員会を開催している。 評価内容については、教職員会議等で報告のうえ、次年度以降の学校運営に活かしていきたいと考えている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
私立高等学校 教諭	R4. 1. 1～R6. 12. 31	教育関係者
私立高等学校 非常勤講師	R4. 1. 1～R6. 12. 31	教育関係者
鍼灸整骨院	R4. 1. 1～R6. 12. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.harikyu.ac.jp/about/information/">https://www.harikyu.ac.jp/about/information/</a> : ◆H		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.harikyu.ac.jp/">https://www.harikyu.ac.jp/</a> : ◆I
---